

## 新福祉車（ホンダN-BOX）よろしくお願ひします

ミニコンサート開催日の日2月19日、光が丘公民館正面入り口の右側に新福祉車を駐車させ、わっか関係者の皆様にお披露目をしました。新福祉車は、日本財団から助成を受け、2017年2月から運行を開始しています。

車イスは1台、付き添いの方は1名まで乗れます。

わっかメンバーは、新福祉車を使いこなせるよう、研修をしています。



ホンダN-BOXは軽自動車です。多くの方がばんざいをしているカラフルな日本財団の絵が描かれています。

町の中で見かけるかもしれませんよ。

## ミニキャブ 14年間 お疲れさまでした。 また がんばってね。

キャブは初めての福祉車として14年がんばってきましたが、2月13日 わっかの利用を終了しました。これまでの走行距離は 42500km、まだまだ走れます。

その後の利用を希望された3団体のうち、抽選で市内の「津久井福祉会」が選ばれ、贈られました。これからの活用を期待しています。

## 日産セシナ現役続行です

2005年から運行している日産セシナ。助手席は回転して外まで降りてくる乗り易い使用になっています。

後部座席は3人乗車できます。

まだまだセシナも、がんばっています。



## 「自閉症を学ぶ」地域研修の報告

2月8日地域に開かれた研修「自閉症について学ぶ」をあじさい会館3階で開催しました。講師は、相模原市自閉症児・者親の会の鏡 京子氏です。

研修のテーマは「自閉症の人達って」と題し、①あなたが、私が、考える支援、②自閉症は症候群、③得意な事と苦手な事、手掛かりになる事、④あなたはどうしたい、⑤社会的やりとりのレベルなどです。

「フランス人にそばの食べ方をどのように伝えるか?」「もしあなたがエチオピアで暮らすことになったらどうしますか?」などをテーマにグループ内で話し合いました。その中で、「困っていることをどうすれば伝えられるのか?」や「コミュニケーションと同時にイメージネーションが大切であること」などを学びました。

また自閉症はひとりひとりが違うこと、脳の器質的、機能的な障害であること、何がわかることで何がわからないかを考えるトランスフォーマー（変化させる人またはもの）が必要であることなど、多くのことを学びました。質疑応答では、私たちが実際の移動ケア時の対応の仕方について活発に質問が出され、有意義な時間を過ごすことができました。

この研修では「NPO法人れんきょう」様のご協力をいただきましたことを感謝いたします。



### 寄付のお礼

今回、日本財団からNBOXの寄贈を受けた際、それに伴う費用のため、寄付のお願いをしたところ、多くの利用者の方、日ごろから活動を応援してくださる方々より、過分の寄付をいただき、本当にありがとうございました。メンバー一同大変感謝しております。NBOXのカーナビ、スタッドレスタイヤに充当させていただきます。

これからも快適な、そして安心、安全な運転をこころがけ、元気におでかけのお手伝いをしてまいります。

いただいたご寄付 22名様より 135,500円 2/28 現在

どうもありがとうございます。